

アーバンスケイプグリーンロールへの フラグ苗直接植付け栽培実験経過

～鈴鹿市内生産者による栽培試験経過～

コク千ナシ栽培経過

～生産者の自動灌水設置圃場で生産実験～



2018.6. コク千ナシフラグ苗を
アーバンスケイプ GR に植え込み



2019.2.19. コク千ナシが GR
の中で順調に生長している



2019.2.19. コク千ナシ生長過程で
GR の中に根が拡がっている

オタフクナンテン栽培経過



2019.2.19. オタフクナンテンが GR の中で
順調に生長している (2018.12..苗植え)



2019.7.24. オタフクナンテンはしっかり
成長している (根は 10%以上にならない)



2020.5.8. 2 年経過 GR の中は根が一杯に
なっていない。GR の下に多く根がある。

- 特徴**
- ① アーバンスケイプ GR は体積の 80%を保水するが、空気層を維持しており過湿になり難い
 - ② アーバンスケイプ GR には根が入るので、植物が枯れ難い (根は 10%以内に収まる)
 - ③ アーバンスケイプ GR はミネラル分を保持しており、植物の生長を助ける
 - ④ アーバンスケイプ GR の製造にはフェノール不使用のため乾いた後すぐ水を吸収できる

色々な樹種を栽培試験中

フリペット レモン&ライム栽培経過



2019.2.19. フリペットがGR
の中で順調に生長している



2019.2.19. フリペット生長過程で
GRの中に根が拡がっている

ボックスウッド栽培経過



2019.2.19. ボックスウッド
は順調に生長している



2019.2.19. ボックスウッド
生長過程で根が拡がっている

アーバンスケイフ製品の安全性

Urbanscape は、玄武岩や白雲岩(はくうがん)といった天然岩石を高温で溶融し遠心力で吹き飛ばして繊維状にしたロックウールを原料としており、無機繊維の生体内溶解性欧州認証委員会(EUCEB)により EUCEB マークが発行されています。

吸入した場合でも、体内で溶けて短時間で体外に排出されることが確認されており、繊維径が3~7 μm で呼吸器系に取り込まれるリスクは極めて少ないものです。保護具を着用することで、**健康に対するリスクはほとんどありません。**IARC による発がん性の分類によるとロックウールは**グループ 3**に属しており、コーヒーやお茶と同等のランクです。さらに Urbanscape は一般的なロックウール製品と異なり、**ホルムアルデヒド不使用**です。

一方、発がん性物質であるアスベストは、繊維径が0.1 μm と極めて細かく呼吸器に入るリスクが高く、また吸入すると体内に長く滞留しやすい性質を持ち、これが癌などの病気を引き起こす原因と考えられています。

参考 IARC による発がん性の分類

グループ 1 (120 種)	ヒトに対する発がん性がある。(例)アスベスト、たばこ、アルコール、ホルムアルデヒド等
グループ 2A (81 種)	ヒトに対しておそらく発がん性がある。(例)紫外線、ディーゼル排気ガス、塩化ビニール等
グループ 2B (299)	ヒトに対して発がん性がある可能性がある。(例)鉛、ガンガン、排気ガス、ウレタン等
グループ 3 (502)	ヒトに対する発がん性について分類できない。(例)ロックウール、ガラスウール、コーヒー等
グループ 4 (1 種類)	ヒトに対する発がん性がない。(例)カスロラクタムのみ

IARC:国際がん研究機関 発がん原因の特定、メカニズムの解明、発がん制御戦略確立を目的に活動

南出株式会社

TEL 059-382-0040(代)